

金沢大学法学類・法学部
2011年度「法理学」小テスト
6月1日 9:15～10:00 実施/ 出題: 足立英彦
解答・解説(30点満点)

1. 次の命題の真理表を書け。(各3点)

(a) $A \vee \neg A$

解答

A	$\neg A$	$A \vee \neg A$
T	F	T
F	T	T

(b) $A \rightarrow (B \rightarrow A)$

解答

A	B	$B \rightarrow A$	$A \rightarrow (B \rightarrow A)$
T	T	T	T
T	F	T	T
F	T	F	T
F	F	T	T

2. 次の文を論理式で書け。ただし、次の解釈を用いること。(各1点)*¹

Jx 「xは日本映画である。」 Gx 「xは傑作である。」

(a) あらゆる日本映画は傑作だ。

解答 $\forall x(Jx \rightarrow Gx)$ 又は $\neg \exists x(Jx \wedge \neg Gx)$

(b) あらゆる日本映画は非傑作だ(駄作だ)。

解答 $\forall x(Jx \rightarrow \neg Gx)$ 又は $\neg \exists x(Jx \wedge Gx)$

(c) 日本映画には傑作もある。

解答 $\exists x(Jx \wedge Gx)$ 又は $\neg \forall x(Jx \rightarrow \neg Gx)$

(d) 日本映画には傑作でないもの(駄作)もある。

解答 $\exists x(Jx \wedge \neg Gx)$ 又は $\neg \forall x(Jx \rightarrow Gx)$

3. 次の推論は論理的に正しい推論であるか。真理表を用いつつ説明せよ。(3点)

$A \rightarrow B \vdash (A \wedge C) \rightarrow B$

*¹ 戸田山和久『論理学をつくる』(名古屋大学出版会, 2000年)121頁より。

解答

A	B	C	$A \rightarrow B$	$A \wedge C$	$(A \wedge C) \rightarrow B$
T	T	T	T	T	T
T	T	F	T	F	T
T	F	T	F	T	F
T	F	F	F	F	T
F	T	T	T	F	T
F	T	F	T	F	T
F	F	T	T	F	T
F	F	F	T	F	T

前提 ($A \rightarrow B$) が真である 1, 2, 5, 6, 7, 8 行目の中で, 結論 ($(A \wedge C) \rightarrow B$) が偽になるような場合 (反例) はないので, 問の推論は論理的に正しい。

解説 真理表が正しければ 2 点, さらに説明が正しければ 1 点。

4. 「OV (V は義務的である) は真」という文を、義務様相を意味する語や記号を用いなくて説明 (言い換え) せよ。(2 点)

解答 「すべての理想世界において V が真である。」または、「すべての理想世界は V である。」

解説 「理想 (的) 世界」という語を用いていれば 1 点与えた。

5. 次の二つのルールが定められている場合の問題点と対応策を説明せよ。なお、考えるすべての対応策を挙げること。(6 点)

(a) 火災が発生したら、列車を止めなければならない。

(b) トンネルを走行中は、列車を止めてはならない。

解答

問題点: トンネルを走行中の列車に火災が発生した場合, (a) のルールは列車を止めることを義務づけ, (b) のルールは列車を止めないことを義務づけている。作為義務と不作為義務 (禁止) は反対の関係にあるので, 同時に真ではあり得ない。したがって, トンネルを走行中の列車に火災が発生した場合, 一方のルールに従うなら他方のルールを無視しなければならない, という問題がある。

対応策: (a)(b) どちらかのルールを廃止する。(a) のルールに, 「ただし, トンネル走行中は列車を止めなくてよい (又は, 止めてはならない)」という例外を付け加える。(b) のルールに, 「ただし, 火災が発生したら, 列車を止めてもよい (又は, 止めなければならない)」という例外を付け加える。

解説 問題点の説明に 2 点 (二つのルールが両立しないのは「トンネル走行中に火災が発生した場合」であることを説明していなければ 1 点減), 対応策に 4 点 (どちらかのルールの廃止に 2 点, それぞれのルールに例外を設けることに 2 点)。

6. 「a は b に対して G を行う義務を有する」という命題が真である場合、次の問に答えよ。

(各 2 点)

(a) b はどのような法的地位にあるか。

解答 「b は a に対して G を行うことを求める権利を有する」という法的地位にある。

(b) 「a は b に対して G を行わない義務を有する」という命題の真理値は何か。また、その理由も説明せよ。

解答 偽。問 (b) の「a は b に対して G を行わない義務を有する」($Oab\neg G$) という地位は、「a は b に対して G を行う義務を有する」($OabG$) という地位と反対の関係にあるので、後者が真であれば前者は偽である。

解説 真理値に 1 点，説明に 1 点。

(c) 「b は a に対して G を行うことを求める権利を有さない」という命題の真理値は何か。また、その理由も説明せよ。

解答 偽。「a は b に対して G を行う義務を有する」($OabG$) 場合，問 (a) で答えたように、「b は a に対して G を行うことを求める権利を有する」($RbaG$)。この法的地位と問 (c) の「b は a に対して G を行うことを求める権利を有さない」($\neg RbaG$) という地位は矛盾の関係にある。したがって， $OabG$ が真であれば， $\neg RbaG$ は偽である。

解説 真理値に 1 点，説明に 1 点。

7. 講義に対するご意見、ご感想、改善提案等を答案用紙に記入してください。(何らかの記入があれば 3 点)

回答 板書の字(とくにアルファベットの小文字)が小さいというご意見を多数いただきました。また、声が聞き取りにくい時があるというご意見もいただきました。気をつけます。

参考情報(6月7日現在)

履修登録数	受験者数	平均点
173	156	25.5

* 30 点(満点) 30 名。

以上